

1. ユネスコ創造都市ネットワークについて

- ユネスコの事業として 2004 年に創設。創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。各都市は同ネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行う。
- 原則2年に1回、ユネスコが公募する。都市(自治体)が直接ユネスコへ申請する際に、日本ユネスコ国内委員会の承認状(Endorsement letter)が必要。
- 世界の加盟都市は 72 か国 180 都市で、7分野(文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化)のいずれかに分類されている。
- 国内の加盟都市は以下の8都市。

都市名	分野	加盟年
神戸市	デザイン	2008
名古屋市	デザイン	2008
金沢市	クラフト&フォークアート	2009
札幌市	メディアアート	2013
鶴岡市 (山形県)	食文化	2014
浜松市	音楽	2014
<small>ささやま</small> 丹波篠山市 (兵庫県)	クラフト&フォークアート	2015
山形市	映画	2017

2. 今回応募があった案件

- 2019年4月のユネスコの公募を受けて、日本ユネスコ国内委員会にて国内公募を行った結果、北海道旭川市(デザイン)、沖縄県石垣市(音楽)の2都市から応募があった。
- 申請案件の概要は次頁のとおり。
- 日本ユネスコ国内委員会による審査の結果、2都市とも我が国からユネスコへ推薦することとなった。

ユネスコ創造都市ネットワーク 2019 年国内申請案件の概要

2. 北海道旭川市

- 7分野のうち「デザイン」分野で申請。
- 豊富な森林資源と高い技術を活かした地域の伝統産業である「旭川家具」を中心に、デザイン都市として、デザインの力で新たな価値を生み出し、産業の活性化や暮らしやすい街づくりの実現を図ろうとしている。
- 「国際家具デザインフェア旭川」の開催などを通じて、国際交流や人材育成に取り組んでいる。



国際家具デザインフェア旭川 2017



ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2018

©旭川家具工業協同組合

2. 沖縄県石垣市

- 7分野のうち「音楽」分野で申請。
- 日本最南・最西の海で国境に面した島で、古来様々な祭礼、舞踊、音楽を伝統として継承。これを基盤として、沖縄音楽を代表する八重山民謡やポピュラーミュージックが生まれている。
- 石垣島の音楽文化の持続と発展のための人材育成などに今後取り組む。



八重山民謡 ©八重山毎日新聞社



毎年約5万人が集まる石垣島まつり ©石垣市